

しょう4りか「ものの^{おんど}温度と^{たいせき}体積」その2

なまえ _____ がつ にち てん _____ / 20

1 ^{たいおんけい}体温計や ^{おんど けい}温度計で ^め目もりが ^あ上がるのは、^{なか えき}中の液が？

^{あたた}ア 温められて ^{たいせき ふ}体積が 増えるから ^{こお}イ 凍るから ^{おも}ウ 重くなるから ^{じょうはつ}エ 蒸発するから
こたえ _____

2 ^{だま こおりみず}へこんだ ピンポン玉を 氷 水につけると？

^{もと もど}ア ふくらんで 元に戻る ^{もど}イ へこんだ まま 戻らない ^{ちい}ウ とけて 小さくなる
^{みず なか はい おも}エ 水が 中に入っ て 重く なる こたえ _____

3 ^{きんぞく たいせき}金属の 体積の 変化を ^{へんか しら}調べるのに、^{たま わ つか}球と 輪を 使うのは？

^{きんぞく ひか}ア 金属を 光らせる ため ^{きんぞく はや あたた}イ 金属を 早く 温める ため ^{たま おも}ウ 球を 重く する ため
^{すこ おお へんか とお とお わ}エ 少しの 大きさの 変化でも、通るか 通らないかで 分かるから こたえ _____

4 ^{くうき}ボールの 空気が ぬけたのか、^ひ冷えて しぶんだのかを ^{たし}確かめるには？

^ひア さらに 冷やして みる ^{あたた もと もど しら}イ 温めて 元に戻るか 調べる ^{いろ み}ウ 色を 見て みる
^{おと き}エ 音を 聞いて みる こたえ _____

5 ^{すい}せっけん水の まくが ふくらんだ フラスコを、そのまま しばらく ^お置くと？

^{いろ か}ア まくが 色を 変える ^{つづ}イ もっと ふくらみ 続ける ^{もと もど}ウ まくが だんだん 元に戻る
^{かた}エ まくが 固く なる こたえ _____

6 ^{みず あたた}水を 温めると、^{たいせき}体積は？

^{はんぶん}ア 半分になる ^{ちい}イ 小さくなる ^{おお}ウ 大きくなる(空気がより ^{くうき}変化は小さい)
^かエ まったく 変わらない こたえ _____

7 ^{きんぞく あたた}金属を 温めた ときの ^{たいせき ふ かた}体積の 増え方は？

^{ちい すこ}ア とても 小さい(少しだけ) ^{みず おお}イ 水より 大きい ^{くうき おお}ウ 空気がより 大きい ^{いちばん おお}エ 一番 大きい
こたえ _____

8 ^{おんど けい}温度計の 中の液が ^{なか えき}上がるのは ^あなぜ？

^{えき じょうはつ}ア 液が 蒸発するから ^{かぜ ふ}イ 風が 吹くから ^{じゅうりよく か}ウ 重 力が 変わるから
^{えき あたた}エ 液が 温められて ^{たいせき ふ}体積が 増えるから こたえ _____

9 空気^{くうき}を 冷^ひやすと、体積^{たいせき}は？

ア 大^{おお}きくなる イ 変^かわらない ウ 小^{ちい}さくなる エ 2倍^{ばい}になる こたえ _____

10 口^{くち}を 下^{した}にして 水^{みず}につけた 試験管^{しけんかん}(中^{なか}は 空気^{くうき})を 温^{あた}めて あわを 出^だした 後^{あと}、冷^ひやすと？

ア 何^{なに}も 起^おこらない イ 水^{みず}が 試験管^{しけんかん}の中^{なか}に 入^{はい}ってくる ウ 試験管^{しけんかん}の水^{みず}が 凍^こる

エ もっと あわが 出^でる こたえ _____

11 せっけん水^{すい}の まくが ふくらむのは なぜ？

ア 外^{そと}から 空気^{くうき}が 入^{はい}ったから イ 中^{なか}の 空気^{くうき}の 重^{おも}さが 増^ふえたから

ウ せっけん水^{すい}が 増^ふえたから エ 中^{なか}の 空気^{くうき} そのものの 体積^{たいせき}が 増^ふえたから こたえ _____

12 へこんだ ピンポン玉^{だま}を お湯^ゆにつけると 戻^{もど}るのは なぜ？

ア 中^{なか}の 空気^{くうき}が 温^{あた}められて 体積^{たいせき}が 大^{おお}きくなるから イ 玉^{たま}が 泳^{およ}ぐから

ウ プラスチックが 溶^とけるから エ お湯^ゆが 中^{なか}に 入^{はい}るから こたえ _____

13 ガラス管^{かん}の水^{みず}に 色^{いろ}をつけるのは？

ア 水^{みず}の 体積^{たいせき}を 増^ふやすため イ 水面^{すいめん}の 位置^{いち}を 見^みやすくするため ウ 水^{みず}を 重^{おも}くするため

エ 水^{みず}を 温^{あた}めやすくするため こたえ _____

14 ガラスびんの 金属^{きんぞく}の ふた^{かた}が 固^ゆいとき、お湯^{あた}で 温^{あた}めると？

ア びんが 割^われる イ 変^かわらない ウ ふたが 縮^{ちぢ}んで きつくなる

エ ふたが 伸^のびて 開^あけやすくなる こたえ _____

15 線路^{せんろ}の レール^まの すき間^{なつ}が 夏^{せま}に 狭^{せま}くなるのは？

ア 作りまちがい イ レールが 温^{あた}められて 伸^のびるから ウ レールが 縮^{ちぢ}むから

エ 雨^{あめ}が たまるから こたえ _____

16 電車^{でんしゃ}の レール^めの つなぎ目^まに すき間^{なつ}があるのは なぜ？

ア 雨水^{あまみず}を 流^{なが}すため イ 音^{おと}を 出^だすため ウ 作りまちがい

エ 夏^{なつ}に レールが 伸^のびる(体積^{たいせき}がふえる)から こたえ _____

- 17 ^{あな} 穴の ^{あいた} あいた ^へ へ ^{こんだ} こんだ ^{ピンポン} ピンポン ^{玉は} 玉は、^{お湯} お湯に ^{つけても} つけても ^{戻りにくい} 戻りにくい。なぜ？
^ア ア ^{ふくらんだ} ふくらんだ ^{空気} 空気が ^{穴から} 穴から ^{出て} 出て ^{いくから} いくから ^イ イ ^{お湯} お湯が ^{冷たいから} 冷たいから ^ウ ウ ^{空気} 空気が ^{縮むから} 縮むから
^エ エ ^{玉が} 玉が ^{重く} 重く ^{なるから} なるから ^{こたえ} こたえ _____
-

- 18 ^{きんぞく} 金属の ^輪 輪を ^{温めると} 温めると、^{輪の} 輪の ^{穴は} 穴は？
^ア ア ^{小さくなる} 小さくなる ^イ イ ^{ふさがる} ふさがる ^ウ ウ ^{大きくなる} 大きくなる ^エ エ ^{変わらない} 変わらない ^{こたえ} こたえ _____
-

- 19 ^{ゴム} ゴム ^{栓を} 栓を ^{した} した ^{試験管を} 試験管を ^{お湯に} お湯に ^{つけると} つけると、^{栓が} 栓が ^{とぶ} とぶ ^{ことがあるのは} ことがあるのは？
^ア ア ^{中の} 中の ^{空気} 空気が ^{温められて} 温められて ^{体積が} 体積が ^{増え} 増え、^{栓を} 栓を ^{押すから} 押すから ^イ イ ^{中の} 中の ^{空気} 空気が ^{冷えて} 冷えて ^{縮むから} 縮むから
^ウ ウ ^{お湯が} お湯が ^{試験管に} 試験管に ^{入るから} 入るから ^エ エ ^{ゴム栓が} ゴム栓が ^{溶けるから} 溶けるから ^{こたえ} こたえ _____
-

- 20 ^{空気・水・金属} 空気・水・金属の ^{うち} うち、^{少しの} 少しの ^{温度変化で} 温度変化で ^{大きく} 大きく ^{体積が} 体積が ^{変わるのは} 変わるのは？
^ア ア ^{どれも} どれも ^{同じ} 同じ ^イ イ ^{空気} 空気 ^ウ ウ ^水 水 ^エ エ ^{金属} 金属 ^{こたえ} こたえ _____
-

こたえ しょう4りか「ものの温度と体積」 その2

- | | |
|---------------------------------|---------------------------------|
| 1 ア 温められて 体積が増えるから | 12 ア 中の空気が 温められて 体積が大きくなるから |
| 2 イ ヘこんだまま 戻らない | |
| 3 エ 少しの大きさの変化でも、通るか 通らないかで分かるから | 13 イ 水面の 位置を見やすく するため |
| 4 イ 温めて 元に戻るか 調べる | 14 エ ふたが 伸びて 開けやすくなる |
| 5 ウ まくが だんだん 元に戻る | 15 イ レールが 温められて 伸びるから |
| 6 ウ 大きくなる(空気より 変化は小さい) | 16 エ 夏に レールが 伸びる(体積がふえる)から |
| 7 ア とても 小さい(少しだけ) | 17 ア ふくらんだ 空気が 穴から 出ていくから |
| 8 エ 液が 温められて 体積が増えるから | 18 ウ 大きくなる |
| 9 ウ 小さくなる | 19 ア 中の 空気が 温められて 体積が増え、栓を 押すから |
| 10 イ 水が 試験管の中に入ってくる | 20 イ 空気 |
| 11 エ 中の 空気 そのものの 体積が増えたから | |